

一 般 質 問 発 言 通 告 表

平成30年6月市議会定例会

(質問予定日 6月19日)

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
1	4番 高橋 菜穂子 (一問一答)	1 農業振興について	<p>1 基盤産業である農業は、子どもたちが安心して暮らしていける環境を維持する営みであり、その振興は、しごとの創出であり、人口対策である。市は戦略をもって農業者及び関係機関と連携していくことが重要だと考えるがどうか</p> <p>(1) 農業振興計画について (2) 担い手確保及び新規就農者支援について (3) 振興作目と園芸団地への取組みについて (4) 新・道の駅の構想と産直施設の設置について</p>	市長 関係課長
2	3番 菊池 大二郎 (一問一答)	<p>1 段階的かつ見通しのある子育て支援事業について</p> <p>2 有害鳥獣被害対策事業について</p> <p>3 観光・文化を起点とした人材育成事業について</p>	<p>1 本市では人口減少対策を第一に掲げ、子育て支援事業を重要な柱としている。一方で、子育て支援に注力する自治体は数知れず、まさに差別化や特性が求められる。思うに、就学前後でニーズも異なり、子どもの個性に伴った段階的な支援と当事者にとって見通しのある中長期的な体制構築が必要であると考えが、現状と今後の方針について伺う</p> <p>(1) 人口減少対策の成果について (2) ニーズの把握、事業の検証方法について (3) 就学前後での支援事業の在り方について (4) 新しい支援体制構築と取組みについて</p> <p>1 村山市鳥獣被害防止計画、村山市環境基本計画が本年度より更新された。そこで、有害鳥獣被害対策に関連した事業全般について伺う</p> <p>(1) 上記計画の修正・追加内容について (2) 現状と対応策について</p> <p>1 913万人のファンづくりのために、市民一人一人が本市を「知り」「愛着を持ち」「伝えていく」ことが不可欠であり、そうした機運づくりが必要と考えるがどうか</p> <p>(1) 認定ガイドの設置・養成について (2) むらやま検定の創設について (3) その他の新しい取組みについて</p>	市長 教育長 関係課長
3	2番 矢萩 浩次 (一問一答)	1 小型無人機「ドローン」の利活用について	<p>1 幅広い分野での運用が期待されている「ドローン」において、本市の利活用と取組みについて伺う</p> <p>(1) 防災・農林業・観光・教育等における各分野での利活用について (2) 新ビジネスの創出支援について (3) 安全かつ有効に高度なレベルで活用するために、市が運用可能な体制づくりについて</p>	市長 教育長 関係課長

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
4	9番 川田 律子 (一問一答)	1 誰もが安心して暮らせる社会をつくるために	1 近年、社会現象として働くことをあきらめたミッシングワーカーと言われる人達が増えているが、要因として親の介護が大きく影響している 国は介護離職者ゼロを目指すとしているが現実と大きく乖離すると思われる 本市における把握とその現状について問う (1) 親の介護のために離職した40代、50代、60代の独身者の把握について (2) 救済策としての相談窓口の設置とその周知方法について (3) ミッシングワーカーの要因としての非正規雇用、独身、介護の問題に対する市の解決策について	市長 関係課長
		2 高齢者の交通手段について	1 村山市では公共交通機関のない地域に買物や通院の交通手段として、買物バスやデマンドタクシーの運行を行っているが、充分とは言えないと思われる 今後の展開について問う (1) 運転免許証返納後の高齢者の交通手段について (2) 市民間に生じる不公平感の解消について	
5	10番 中里 芳之 (一問一答)	1 義務教育の無償化について	1 義務教育の無償化拡大で、教育を受ける権利の保障と、保護者の経済的負担の軽減を (1) 学校給食費の無償化、副教材費の無償化について (2) 学校給食費の公会計化について	市長 教育長 関係課長
		2 学校給食のあり方について	1 小学校の自校直営給食の堅持と中学校への導入を (1) 小学校給食調理業務委託の拡大について (2) 中学校給食に係る調理業務等の委託について	
6	12番 大山 正弘 (一問一答)	1 旧楯岡高等学校跡地を利用したまちづくりについて	1 旧楯岡高等学校跡地利用は、今後のまちづくりを進めるうえで重要な課題であります それには、用地の所有者である県との連携が必要不可欠であると思われまます 市は、今後の利活用の考え方を積極的に示すべきと考えるがどうか (1) 具体的な案の策定について (2) 策定に向けたスケジュールについて (3) 県への要望、検討内容について	市長 関係課長
		2 村山市諏訪山霊園を次世代に引き継ぐために	1 現在の諏訪山霊園は、人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃が目立つような状況にあります この荒廃は、地域の現状を表しているように思われます しかし、先代から守られてきた霊園を、次世代に引き継ぐ必要があると考えるがどうか (1) 5年後の新たな使用許可と返還数の見通しについて (2) 諏訪山霊園周辺の景観について	

質問者欄の(一括)及び(一問一答)とは、次の質問方式の略称です。

(一括) …一括質問・一括答弁方式

(一問一答) …一括質問・一問一答方式